

1 級論述試験対策 10 点アップ講座

新しい出題形式に対応し
本試験での考え方を
提示します

新しい出題形式に対して、「問題」をどう捉え、どのように「答案構成」して、どのように「解答」を記述すれば合格ラインを越えられるかを体験

東京	2023 年 12 月 2 日(土)	9 : 30 ~ 16 : 30	会場 : 東京都立産業貿易センター 浜松町会館	JR 浜松町駅徒歩 5 分	会員受講料 (税込)	一般受講料 (税込)
大阪	2023 年 11 月 25 日(土)	9 : 30 ~ 16 : 30	会場 : 神戸大学 大阪凌霜クラブ	梅田・大阪駅徒歩 5 分	20,000 円	23,000 円

第 13 回試験では、「出題形式」が変更され、試験時間も短くなると告知されましたが、この講座はそれを踏まえ、論述試験の得点を前回より 10 点アップを目指します。

講座では、まず、論述試験は「**実技試験**」であることから、ケースをどのように読み取り、「問題(設問)」にどうアプローチすれば解答を導くことができるかを考えます。

そのうえで、論述試験の考え方の基本である「答案構成」を行い、解答の要素をどのような順番で、どう表現すると試験官から高得点を得られるかをお伝えします。

講座の中では、「論述試験」の解答における基本的考え方を示したうえで、当会が出題を予想する**設問の内容にどのようにアプローチし、解答用紙に**、何を、どのような順番で、どのように書いていくかをお伝えし、実際に解答を作成していただきます。

また、講座では、当会の専任講師陣が「問題」として出題を予想するいくつかの設問を用意し、その問題が出題された場合の解答へのアプローチ法、解答の指針や解答の要素、解答例などを提示します。この対策をとることで、本試験の会場で、どのような問題が出題されても、安心して、落ち着いて解答に向かうことができるようになります。

■「論述試験」の解答の書き方のよくある質問

論述試験の解答で「体言止め」を用いることはどうでしょうか。文末表現は、「～と思われる」や「・・と推測される」と決めつけない表現の方がよいでしょうか。

解答の中に書くべき要素が漏れないようにするには、どうすれば良いですか。

■答案構成のやり方(当会の講座の特長です)を詳しくお伝えします

論述試験で合否を分けるのは、「答案構成」です。講座では、1 級論述試験の答案構成のやり方を明示します。

講座の中で、解答を作成していただき、何を記述すべきかを確認して、合格答案にするための書き方を講師から具体的にアドバイスします。



* 12 月 8 日(金)20 時より本番直前 1 級オンライン論述対策を開催します。